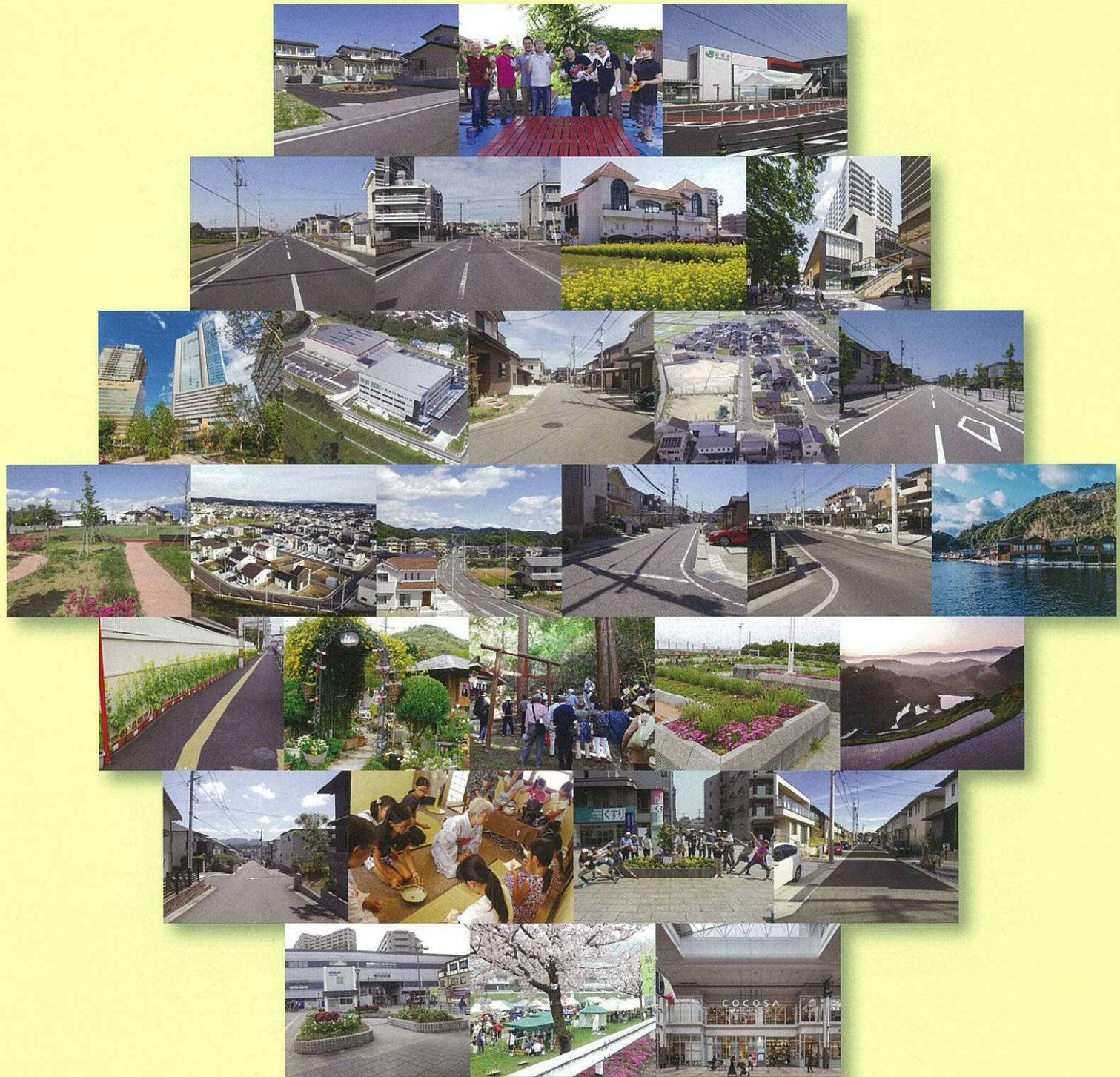


平成30年度(第36回)

まちづくり月間

6/1-30



(写真)平成30年度 まちづくり月間まちづくり功労者国土交通大臣表彰

「まちづくり月間」とは

住民の積極的な参画のもとに創意と工夫を活かしたまちづくりを推進することを目的として、昭和58年度から毎年6月を「まちづくり月間」と定め、まちづくりについて住民の理解と協力を得るために、都道府県、市町村、関連団体の協力を得て、様々な広報活動や行事の開催等、まちづくりに関する啓発活動を幅広く実施しています。

※昭和43年6月15日に現在のまちづくりの根幹となる「新都市計画法」及び「改正建築基準法」が公布されたことから6月としています。

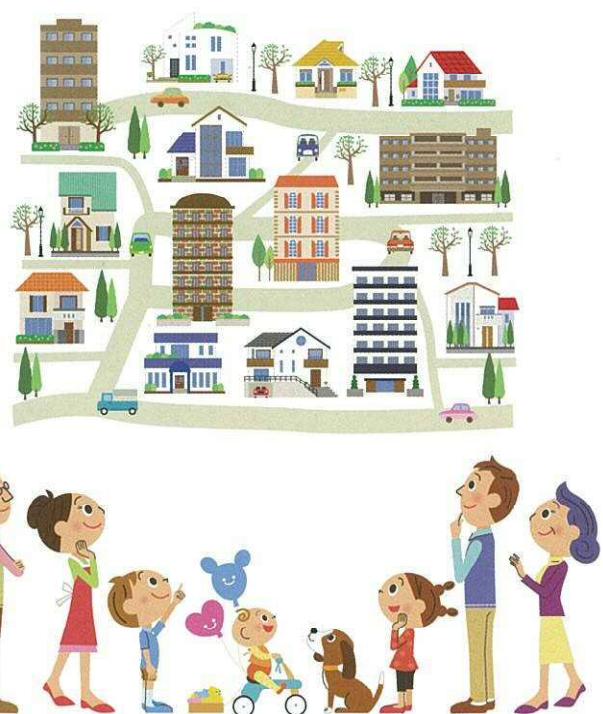
近年の都市政策では、人口減少や高齢化が進む中につれて地域の魅力・活性を維持向上し、将来にわたり国民が安全・安心や豊かさを実感できる社会を築くことが求められています。

そのため、地域の課題に対応し地域の活性化を図っていくために、住民等が主体的に支え合う活動を行う活力ある社会の実現が必要となっていきます。

そこで、まちづくり月間では、まちづくりに関する様々な啓発活動を展開します。

まちづくりと景観を考える全国大会

- 1.日時 平成30年6月15日(金) 13:30~
- 2.場所 「すまい・るホール」(東京都文京区 住宅金融支援機構内)
- 3.主催 まちづくり月間全国的行事実行委員会
「都市景観の日」実行委員会
- 4.表彰式 ①まちづくり月間まちづくり功労者国土交通大臣表彰
②まちづくり月間関連国土交通大臣表彰
 - ・まちづくり法人国土交通大臣表彰
 - ・まち交大賞
 - ・コンパクトシティ大賞
 - ・住まいのまちなみコンクール
 - ・まちの活性化・都市デザイン競技
 - ③都市景観大賞



第36回 まちづくり月間 地方公共団体等における主な関連行事の紹介

平成30年度 盛岡市都市景観賞写真パネル展

- 日時 平成30年6月1日(金)～6月29日(金)
場所 ①盛岡地域交流センター マリオス20階展望室
平成30年6月1日(金)から6月15日(金)まで
②都南文化会館
平成30年6月15日(金)から6月29日(金)まで
主催 盛岡市

平成30年度 東京都まちづくり功労者に対する知事感謝状贈呈式

- 日時 平成30年6月13日(水)
場所 都庁内特別会議室(東京都新宿区)
主催 東京都都市整備局

あいちまちづくりシンポジウム

- テーマ みんながつながるまちづくり
日時 平成30年6月6日(水) 13:30～16:45
場所 名古屋市青少年文化センター アートピアホール(愛知県名古屋市)
主催 愛知「まちづくり月間」実行委員会
(構成団体:国土交通省中部地方整備局、愛知県、名古屋市、独立行政法人都市再生機構中部支社)

郡山城天守台展望施設合同演奏会 水無月コンサート

- テーマ 郡山城天守台を中心としたまちの賑わい創出
日時 平成30年6月9日(土) 13:00～、15:00～(雨天中止)
場所 郡山城天守台展望施設(奈良県大和郡山市)
主催 郡山城にぎわいづくり実行委員会

第30回 長崎県まちづくりの絵コンクール

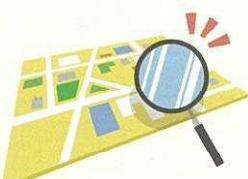
- テーマ みんなですみたい りそなのまち
日時 (応募期間)平成30年6月1日(金)～9月7日(金)
(展示期間)平成30年10月下旬～平成31年2月(予定)
場所 長崎県美術館ほか県内公益施設予定
主催 長崎県土木部、長崎県都市計画協議会、(一社)長崎県公園緑地協会

まちづくり講演会

- テーマ 地域戦略としての景観まちづくり
日時 平成30年6月6日(水)
場所 マリエールオーラパーク(沖縄県那覇市)
主催 沖縄県・沖縄県都市計画協会

パネル展

- テーマ 那覇市のまちづくり
日時 平成30年6月25日(月)～6月29日(金)
場所 那覇市役所1階
主催 那覇市



まち交大賞

まち交大賞は、都市再生整備計画に基づくまちづくりにおいて、優良な計画が策定され、また事業の実施・評価・改善において優れた取り組みを行った地区などを対象として表彰し、関係者の栄誉をたたえるとともに、受賞地区的事例を全国に幅広く紹介することで、地域の創意工夫を活かしたまちづくりを促進することを目的として実施するものである。



国土交通大臣賞

完了地区



砂沼周辺地区 (茨城県下妻市) ①



完了地区

まちづくり達成大賞 (まちづくり情報交流協議会会長賞)

滝沢村役場周辺地区 (岩手県滝沢市) ②

さまざまな活動が複合化され、一つとしての都市機能の集約により、地域のみんなが主体となった活動の拠点で実施することで、人と人、動が盛んに行われ、経済も循環することで持続していくまちづくりを構築した。生まれるプロジェクト「みんなでつくるふれあいの大屋根」⇒ビッグルーフ滝沢(交流拠点複合施設)を中心とした、地域を活性化させるためのまちづくりを実施。市の中心部と



まちづくり効果賞 完了地区

新船岡地区 (宮城県柴田町) ④

伊達家臣の町下町であった当地区は、歴史的な街並みを残しながら地域経済の中心として市街地が形成されてきた。居跡である船岡城址公園は、県内で唯一「日本さくら名所100選」に選ばれている観光拠点となっている。住民との協働により施設更新や回遊拠点の整備を進め自然を体感して楽しむながら歩きたくなる都市空間を創造してにぎわいの再生に取り組んだ。



恵庭駅西口地区 (北海道恵庭市) ⑤

土地区画整理事業と有料老人ホーム、医療モール、駐車・輸保、保育園、商業施設をテナントとする市街地再開発事業との一体的の施行および、駅舎と再開発ビルを結ぶ空中歩廊、自転車駐輪場、駅前広場整備などの整備を同時期に行うことで、駅へのアクセシビリティ向上と交通結節点機能の強化、都市機能の集約を同時に進めることができることが可能となり、効率的に安全性、利便性の高いコンパクトなまちづくりを実現した。



創意工夫大賞 (都市みらい推進機構理事長賞)

JR 境港駅前地区 (鳥取県境港市) ③

年間200万人以上の来訪者が訪れる世界で唯一の道を目指し、道路の1車線化、一方通行水木しげるロードのリニューアル事業。による歩道の拡幅、全線にわたる演出照明等を実施しました。歩道のブランズ像に来訪者が訪れ、生活道路自体が観光地化していたが狭い歩道や、通過型の観光が課題であり、住民や関係者(有識者、商工関係、地元自治会・商店街、福祉関係等)が一体となり、「妖怪」の魅力を堪能で



まちづくりシナリオ賞 計画地区

中条駅西口周辺地区 (新潟県胎内市) ⑥

駅周辺整備により、鉄道で分断されたまちを一体化し、既存ストックまちの機能の連繋によりオリジナルの魅力を創出。東西自由通路の建設による中条駅周辺地区の一体的整備と市域道路や公共交通施設の整備により総合的に新しいまちづくりを進め、住む人が安心・快適に暮らせる、人にやさしい魅力あるまちの形成を目指す。



粟津温泉地区 (石川県小松市) ⑦

平成24年に廃業した温泉街の中心に位置する老舗旅館跡地について、住民や観光協会、旅館関係者が一體となった「跡地活用会議」において交流広場と位置付け、温泉街周辺と街中の回遊拠点として、地元主体のイベント開催、目で見て楽しめる演出を行うことで、温泉街の懐い再生や周辺の活性化につなげるまちづくりを展開。



コンパクトシティ大賞

取り組みの後押しが急務となっているコンパクトシティ政策について、「健康」「子育て」「稼ぐ力」等の都市が直面する課題・テーマに対して、立地適正化計画及びその他の施策を組み合わせてコンパクトシティの形成に取り組んでいる市町村を対象に、他のモデルとなる都市を表彰する主旨のもと、「コンパクトシティ大賞」を創設しました。

第2回となる今回は「地域公共交通」をテーマに選考し、以下の表彰対象都市を選定しました。

国土交通大臣表彰



富山市 (富山県)

富山市は、人口減少や少子高齢社会の進行などに対応した持続可能なまちづくりが必要と考え、①公共交通の活性化②公共交通沿線地区への居住推進③中心市街地の活性化を施策の三本柱として、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を進めています。

公共交通の活性化については、国内初の本格的LRTである富山ライトレールの整備や、地域が主体となってルートやダイヤ等を決定して運行する「地域自主運行バス」への支援を行ってきたほか、現在、富山駅の北側と南側を走る路面電車を新幹線高架下で接続する「路面電車南北接続事業」を進めており、南側の路面電車が富山駅高架下に乗り入れる第1期区間が、平成27年3月の北陸新幹線開業にあわせ運行が開始されました。

これらの取り組みの結果、富山駅高架下乗り入れ後の路面電車の利用者は乗り入れ前に比べ約1割増加し、公共交通全体でも、「公共交通1日平均利用者数の富山市人口あたりの割合」は13.7%（平成26年度実績）から15.1%（平成28年度実績）へと増加しています。

また、昨年10月には、LRT区間において、自動車の通行を規制し歩行者と路面電車（LRT）のみが通行できるトランジットモール社会実験を国内で初めて実施するなど、公共交通の活性化施策とともに、移動の目的地となる街の魅力を向上させる取り組みも行っています。

今後ともコンパクトなまちづくりを軸として、教育や文化、福祉、医療なども含めた包括的な施策を着実に展開し、都市の総合力を高め、市民が質の高い生活を享受する、すなわちQOL（Quality of Life）の向上を目指していくたいと考えています。



富山市が目指すお団子と串の都市構造概念



路面電車の富山駅高架下乗り入れ



LRT区間でのトランジットモール

まちづくり月間全国的行事実行委員会会長表彰



岐阜市 (岐阜県)

岐阜市では、平成15年度に策定した「岐阜市総合計画」に「多様な地域核のある都市」を将来像と掲げ、人口減少や少子化・高齢化などの社会現象の変化に対応するため、集約型都市構造への転換を図り、公共交通と連携した持続可能なまちづくりを目指してきました。

平成28年度に策定した岐阜市立地適正化計画では、幹線バス路線などの公共交通軸沿線の市街化区域約57%を居住誘導区域に設定し、居住や都市機能の維持・誘導を図るとともに、岐阜駅北口駅前広場を核に岐阜市型BRTの導入による幹線バス路線の強化や市内19地区で運行するコミュニティバスとの連携など地域公共交通と一体となったまちづくりを推進しています。

現在は、公共交通のほか、子育てや福祉部局などに横展開を図り、様々な分野と連携した誘導施策の立案・実施のため、立地適正化計画推進委員会を組織し、健康で快適な生活が確保された持続可能なまちづくりの実現に向け、様々な取り組みを進めています。



上：岐阜駅北口駅前広場の様子



下：連節バス運行の様子(岐阜市型BRT)

住まいのまちなみコンクール

地域の特性を活かし、魅力的な住まいのまちなみを育む維持管理や運営などの活動に実績を上げている住民組織を、まちづくりのモデルとして表彰し、支援します。

国土交通大臣賞

 **押沢台北ブラブラまつり
実行委員会**
(高蔵寺ニュータウン押沢台北地区)
(愛知県春日井市)

UR都市機構による公団時代初期のニュータウンで、約40年前に入居が始まりました。高齢化等によるまちの衰退を懸念し、住民の呼び掛けによって2012年から始まったのが「ブラブラまつり」です。このお祭りは、まち全体を使い各々の家を主役にしようとするので、庭先や駐車場などを自分流に飾り付け、カフェやギャラリーなどの交流の場として開放し、互いに訪問しあうことでのぎわいのある開かれたまちなみづくりが行われています。個々人の特技を生かし、全員参加で活気のある日常生活を取り戻そうとする新しい取り組みが高く評価されました。



住まいのまちなみ賞

おひさまのまち花ヶ浦街づくり組合
(おひさまのまち花ヶ浦地区) (福岡県糟屋郡粕屋町)



首長をはじめとする行政、住宅事業者、住民が三位一体となった見事なまちづくりの取り組み方が評価されました。粕屋町は人口移動が多く定住率が低いため、行政はプロポーザル方式を活用して、適正な立地、環境条件を満たした住み分けられるまちづくりを目指しました。プロポーザルにより選定された住宅事業者が創エネ・省エネに特化した住宅を建築し、まちづくりの意図に賛同した人々が居住して、積極的にコミュニティ活動などに取り組んでいます。

本町地区歴史的建造物を活かしたまちづくり推進協議会
(江津本町地区) (島根県江津市)



古くから江津の中心的役割を担ってきた地区ですが、国道や庁舎の移設に伴い衰退し、一時は閑静な住宅街となっていました。しかし、有識者の調査等により、地区内で多くの歴史的価値、魅力が見出されたことをきっかけにまちなみ整備に係る基本計画を立案、行政の事業化につなげ、石州瓦を活かしたまちなみの修復、整備に取り組んでいます。また、まち歩きイベント「ふらり」や、ボランティアガイドの育成、中学生への歴史教育などの住民活動も積極的に行っており、Uターンで戻った若手の今後の活動などにも期待を込めて表彰することとなりました。

豊中市永楽荘桜自治会
(豊中市永楽荘3丁目、4丁目地区) (大阪府豊中市)



もともとは別荘地でしたが、住宅開発による区画の細分化等を受けて、住まいの外観やまちなみの不統一性を懸念する声が高まったことから、住民が主体となって景観に関する自主協定を締結しました。その後、専門家や行政の協力も得て、地区計画や景観計画、独自のガイドライン等を策定し、緑豊かな住宅地として景観の維持・保全に取り組んでいます。様々な制度を巧みに使い分け、総合的な仕組みを作り上げたことで、これからまちなみづくりに大きな示唆を与えています。

レイクタウン美環の杜管理組合
(レイクタウン美環の杜地区) (埼玉県越谷市)



UR都市機構が整備したニュータウンで、環境共生先導都市のモデル街区にもなっています。親水空間を随所に配置するとともに近所との交流が円滑に行えるよう配慮したこと、景観・環境・利便性が調和した空間が形成され、住民の満足度も非常に高くなっています。夏祭りや子供会のほか、高齢者が定期的に演奏会を開くなど、世代を超えた住民活動も活発に行われており、多世代コミュニティを活かしたマネジメントが期待されます。

まちの活性化・都市デザイン競技

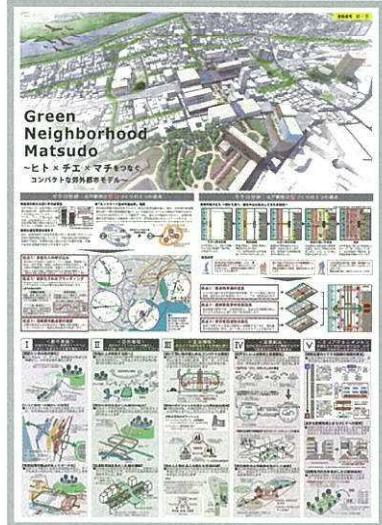
地域(課題地)にふさわしい魅力的な空間創出、活力のある拠点形成、美しいまちなみ形成等を実現するための様々なアイデアと都市デザインについて、一般から提案を募り、優秀作を表彰します。

国土交通大臣賞

「Green Neighborhood Matsudo」



ヒト×チエ×マチをつなぐ
コンパクトな郊外都市モデル



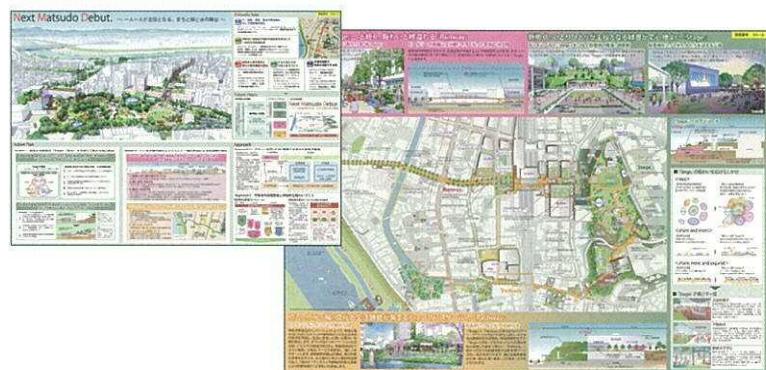
久野 恭平 他 5名 (株式会社久米設計)



まちづくり月間全国的行事実行委員会会長賞

「Next Matsudo Debut.」 —一人一人が主役となる、まちと緑と水の舞台—

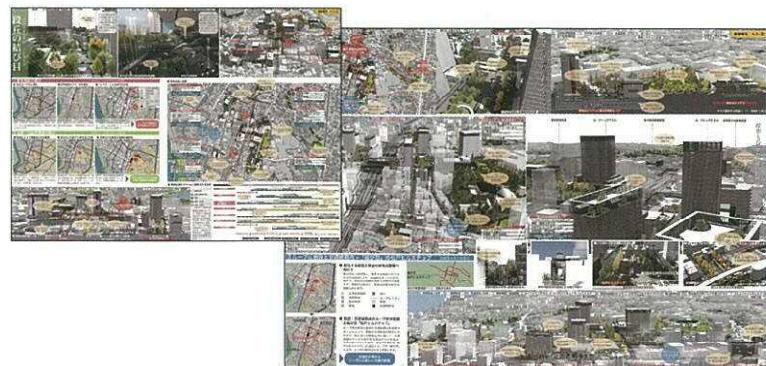
石田 武 他 9名 (大成建設株式会社)



(公財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞

「段丘の結び目」 回遊性を促すループとライン

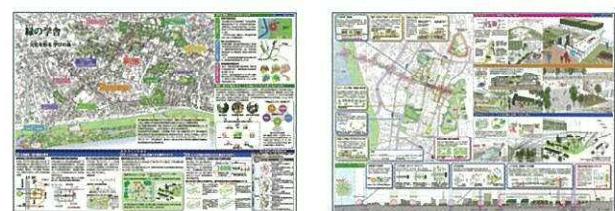
金城 正紀 (社会環境設計室)



奨励賞

「みどりのまち ぶんかいろどりまなはたけ —文化を彩る学びの島—」

加藤 千尋 他 8名 (戸田建設株式会社)



「松戸のとも庭」

龜井 優樹 他 3名 (千葉大学大学院園芸学研究科)



松戸市長特別賞

「寄る辺の津、いざなう瀬」

新妻 直人 他 4名 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻
地域デザイン研究室 + 都市デザイン研究室)



まちづくり月間

6/1-30

<まちづくり月間の主催・後援・協力一覧>

主 催

国土交通省
都道府県
市町村

後 援

内閣府
独立行政法人住宅金融支援機構
阪神高速道路(株)
NHK
国立研究開発法人土木研究所

総務省
独立行政法人都市再生機構
地方共同法人日本下水道事業団
(一社)日本新聞協会
国立研究開発法人建築研究所

文部科学省
首都高速道路(株)
東京地下鉄(株)
(一社)日本雑誌協会

協 力(まちづくり月間全国的行事実行委員会 協賛団体)

(独)住宅金融支援機構	(独)都市再生機構	首都高速道路(株)
阪神高速道路(株)	地方共同法人日本下水道事業団	東京地下鉄(株)
(一社)建設広報協会	(一社)再開発コーディネーター協会	(公社)商業施設技術団体連合会
(一社)セメント協会	(一社)全国建設業協会	(公社)全国市街地再開発協会
(一社)全国上下水道コンサルタント協会	(公社)全国宅地建物取引業協会連合会	(一社)日本屋外広告業団体連合会
(公社)全日本不動産協会	(一社)都市計画コンサルタント協会	(公社)日本下水道協会
(一社)日本下水道施設業協会	(一社)日本建設業連合会	(公社)日本建築士会連合会
(一社)日本建築士事務所協会連合会	(一社)日本公園施設業協会	(一社)日本公園緑地協会
(公社)日本交通計画協会	(一社)日本住宅協会	(一社)日本造園建設業協会
(一社)ランドスケープコンサルタント協会	(一社)日本地下鉄協会	(一社)日本道路建設業協会
(公社)街づくり区画整理協会	(一社)日本ビルディング協会連合会	(一社)不動産協会
(公社)立体駐車場工業会	(一社)全国住宅産業協会	(一社)日本モノレール協会
(一社)都市環境エネルギー協会	(一財)沖縄美ら島財團	(公財)区画整理促進機構
(一財)計量計画研究所	(公財)建築技術教育普及センター	(一財)公園財團
(公財)国際花と緑の博覧会記念協会	(一財)国土技術研究センター	(一財)小林国際都市政策研究財団
(公財)自転車駐車場整備センター	(一財)住宅改良開発公社	(一財)住宅生産振興財団
(一財)首都圏不燃建築公社	(一財)首都高速道路協会	(公財)都市計画協会
(公財)都市づくりパブリックデザインセンター	(一財)都市文化振興財団	(一財)都市防災研究所
(一財)都市みらい推進機構	(公財)都市緑化機構	(一財)日本建築センター
(一財)日本緑化センター	(一財)民間都市開発推進機構	(一財)国土計画協会
全国街路事業促進協議会	全国建設弘済協議会	全国土地区画整理事業推進協議会
都市再開発促進協議会	まちづくり情報交流協議会	

作品募集案内 (平成31年度表彰)

本年も、「まちづくり月間」の行事として、作品の募集を行っています。詳細は事務局までお問い合わせください。

● まち交大賞

【応募期間】平成30年11月～平成30年12月(予定) 【事務局】(一財)都市みらい推進機構 Tel.03-5261-5625

● コンパクトシティ大賞

【応募期間】平成30年12月～平成31年1月(予定) 【事務局】(公財)都市計画協会 Tel.03-3262-3491

● 住まいのまちなみコンクール

【応募期間】平成30年5月～平成30年8月 【事務局】(一財)住宅生産振興財団 Tel.03-5733-6733

● まちの活性化・都市デザイン競技

【応募期間】平成30年9月～平成30年10月(予定) 【事務局】(公財)都市づくりパブリックデザインセンター Tel.03-6912-0799

国土交通省のホームページアドレス(<http://www.mlit.go.jp/>)から「まちづくり月間」で検索

まちづくり月間全国的行事実行委員会

【事務局】(公財)都市計画協会 (ホームページアドレス <http://www.tokeikyou.or.jp/>)